



防災まちづくり ニュース

【第15号・2022年3月】

●編集・発行
翔鷹学区防災まちづくり協議会
京都市 まち再生・創造推進室

翔鷹学区防災まちづくり協議会です。

翔鷹学区は「安心・安全に住み続けられる災害に強いまち」を目指して、災害前に防災上の課題を改善する「防災まちづくり」に取り組んでいます。

感染症対策などで思うような活動ができない状況が続きますが、災害はいつ起こるか分かりません。今年度は、状況が許す範囲でコツコツと取り組んできました。

今年度の活動をまとめましたので、ぜひご一読ください。

避難所開設 ・運営訓練 を 実施しました！

令和3年11月27日(土)自主防災会役員を主体に、区役所や消防と連携し、「避難所開設・運営訓練」を実施しました。

地震による災害を想定し、災害発生時の連絡体制、避難所(翔鷹小学校体育館)の開錠、避難者受付準備、感染症対策、段ボールベッド・間仕切りテントの設置など、避難所開設から、避難者受け入れまでを訓練し、消火器具の取扱説明を受けました。



避難者受付訓練



段ボールベッド組立中！

自主防災会は、災害時に備えて準備を進めています。皆さんも、来るべき災害に備え、避難行動について家族で日頃から話すなど、まずは身を守る準備について考えてみてください。

※実際の災害時は、避難者にもご協力を得て避難所運営することになります。



消火器具取扱説明を受けています

第7ブロック 防災 まちあるき を 実施しました！

6月、毎年恒例「防災まちあるき」を第7ブロックで実施しました。
お住まいの方と一緒にまちをあるき、まちの安全のためにできることがないか確認しました。

※ 翔鸞学区では、まちの安全性向上のため、毎年ブロックを変えて、まちあるきを実施しています。

来年度の取組予定

令和4年度の“防災まちあるき”は3ブロックで実施予定です。

溝前町
末広町
風呂屋町
佐竹町
南上善寺町

〔過去4年間実施例〕

平成30年度 2ブロック
平成31年度 6ブロック
令和2年度 8ブロック
令和3年度 7ブロック

第7ブロックってどんな所？

第7ブロックは、滝ヶ鼻町、末吉町、末之口町、元毘沙門町、新西今出川町の5町です。大通り（今出川・中立売・七本松）や大型店舗もありますが、幅の狭い道や昔ながらの商店・住宅も建ち並んでいます。

参加ありがとうございます！



建物が解体 され、路地内の 安全性が あがりました！

京都市の支援制度を活用して、老朽化した木造建築物を解体されました。
今後は菜園等の空地として活用される予定で、地震時にも安心です。



解体前



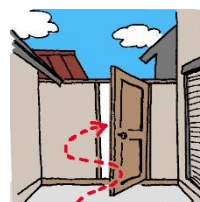
解体後

～京都市からのお知らせ～

京都市では密集市街地や細街路の安全性を高めるための支援制度を設けています。

■細街路対策事業

- ・緊急避難扉の設置 :最大 30 万円
- ・袋路入口の耐震・防火改修 :最大 250 万円
- ・袋路入口の工作物の撤去等 :最大 50 万円 他



■防災まちづくり推進事業

- ・老朽木造建築物の除却 :最大 60 万円
- ・危険ブロック塀の除却 :11,600 円/㎡
- ・まちなかコモنزの整備(建物除却) :最大 100 万円
- (ひろばの整備) :最大 200 万円



さらに固定資産税が
非課税になります。

※補助金の要件については、まち再生・創造推進室(075-222-3503)までお問合せください。